

第1回職業情報提供サイト（日本版0-NET）（仮称）
普及・活用の在り方検討会 議事次第

日時：令和元年6月10日（月）

14:00～16:00

場所：経済産業省別館310各省庁共用会議室

1 開会

2 議事

- (1) 検討会の開催について
- (2) 検討会の進め方について
- (3) 職業情報提供サイト（日本版0-NET）（仮称）の開発に反映させるべき事項について
- (4) サイト運営方針書に盛り込むべき内容について

3 閉会

（配布資料）

- 資料1-1：職業情報提供サイト（日本版0-NET）（仮称）普及・活用の在り方検討会開催要綱
- 資料1-2：職業情報提供サイト（日本版0-NET）（仮称）普及・活用の在り方検討会構成員名簿
- 資料1-3：検討会の公開の取扱いについて
- 資料2：検討会開催スケジュール（案）
- 資料3：職業情報提供サイト（日本版0-NET）（仮称）の概要について
- 資料4-1：今年度の開発等について
- 資料4-2：今年度の「職業情報提供サイト（日本版0-NET）（仮称）」構築スケジュールについて（(株)野村総合研究所）
- 資料4-3：職業情報提供サイト（日本版0-NET）（仮称）の設計開発について（ソフトバンク・テクノロジー(株)）
- 資料4-4：職業情報提供サイト（日本版0-NET）（仮称）に掲載する写真動画制作、ユーザビリティ調査及びプロモーション・パブリシティについて（(株)博報堂）
- 資料5：サイト運営方針書（構成案）について（(株)野村総合研究所）
- 資料6：サイト構築に当たっての論点について

職業情報提供サイト（日本版 0-NET）（仮称）普及・活用の在り方検討会開催要綱

1. 目的

転職希望者等が職業経歴や学習・訓練歴で獲得したスキル・知識等を活かした就職活動が行え、企業が必要な人材を獲得できるようにするための「職業情報の見える化」を実現する職業情報提供サイト（日本版 0-NET）（仮称）（以下「日本版 0-NET」という。）について、本サイトが活用されるものとするために開発段階で反映させるべき事項等を検討するとともに、運用開始後の普及・活用促進を効果的なものとするための有識者による検討会を開催する。

2. 検討内容

- (1) 日本版 0-NET が活用されるようにするために、開発段階で反映させるべき事項及び具体的内容の検討。
- (2) 運用開始後の想定ユーザーへの周知広報策の検討。
- (3) 日本版 0-NET の将来にわたる発展のために運用開始後に取り組むべき事項の検討。
- (4) その他、日本版 0-NET の普及・活用促進のために開発段階において検討すべき事項。

3. 構成

- (1) 本検討会の構成員は、日本版 0-NET の運用開始後の普及及び活用促進を見据え、学識経験者、労働者代表、使用者代表、システム専門家、日本版 0-NET の想定ユーザーから参集を求めた者とする。
- (2) 構成員の互選により、学識経験者の中から、座長を選ぶ。
- (3) 関係省庁並びに日本版 0-NET の設計開発等業務、工程管理支援等業務及び写真動画制作・ユーザビリティ調査等業務の受託者をオブザーバー参加させる。

4. 検討会の開催及び事務局

検討会は職業安定局総務課首席職業指導官が招集及び開催する。

検討会の事務局は、厚生労働省職業安定局総務課首席職業指導官室が担当する。

5. その他

この要綱に定めのない事項については、座長と事務局が協議の上決定する。

6. 施行

この要綱は、令和元年 5 月 20 日から施行する。

職業情報提供サイト（日本版 O-NET）（仮称）普及・活用の在り方検討会構成員
（令和元年 6 月 10 日現在）

（構成員）

- 伊藤 芳彦 株式会社三菱総合研究所執行役員 コンサルティング部門副部門長
- 漆原 肇 日本労働組合総連合会総合労働局雇用対策局長
- 大藪 毅 慶応義塾大学大学院経営管理研究科専任講師
- 木下 学 パーソルキャリア株式会社コーポレート本部本部長
- 酒井 基博 日本経済団体連合会労働政策本部上席主幹
- 千葉 吉裕 公益財団法人日本進路指導協会理事・調査部長
- 根本 直樹 政府 CIO 補佐官
- 野原 正和 アデコ株式会社キャリア開発本部本部長
- 藤田 真也 特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会会長
- 星野 亜弓 新宿公共職業安定所東京新卒応援ハローワーク室長
- 松原亜矢子 労働政策研究・研修機構キャリア支援部門統括研究員

（オブザーバー）

- 能村 幸輝 経済産業省経済産業政策局産業人材政策室長
- ソフトバンク・テクノロジー株式会社（設計開発等業務受託者）
- 株式会社野村総合研究所（工程管理支援業務等受託者）
- 株式会社博報堂（写真動画制作・ユーザビリティ調査等業務受託者）

（五十音順、敬称略）

検討会の公開の取扱いについて

検討会は、原則公開とする。

ただし、以下に該当する場合であって、座長が非公開とすることが妥当であると判断した場合には、非公開とする。

- ① 個人の関する情報を保護する必要がある。
- ② 特定の個人等に関わる専門的事項を審議するため、公開すると外部からの圧力や干渉等の影響を受けること等により、率直な意見の交換又は意思決定の中立性が不当に損なわれるとともに、委員の適切な選考が困難となるおそれがある。
- ③ 公開することにより、市場に影響を及ぼすなど、国民の誤解や憶測を招き、不当に国民の間に混乱を生じさせるおそれがある。
- ④ 公開することにより、特定の者に不当な利益を与え又は不利益を及ぼすおそれがある。

※ 上記①～④は、厚生労働省が定める「審議会等会合の公開に関する指針」における審議会等会合の公開に関する考え方に準拠するもの

検討会開催スケジュール（案）

令和元年

6月 第1回 検討会

- 職業情報提供サイト（日本版 0-NET）（仮称）の概要について
- 今年度における職業情報提供サイト（日本版 0-NET）（仮称）の開発等について
- サイト運営方針書に盛り込むべき内容についての意見交換
- モックアップを用いたユーザビリティ調査の実施方向性についての意見交換

7月 第2回 検討会

- サイトの障害者等就職困難者への支援への活用可能性等についてのヒアリング
- サイト運営方針書（案）について
- モックアップを用いたユーザビリティ調査の実施について

10月 第3回 検討会

- モックアップを活用したユーザビリティ調査の結果についての意見交換
- 想定ユーザーへの周知広報策についての意見交換
- サイトにおける AI・ビッグデータの活用及びサイト間連携についての意見交換
- 職業情報提供サイト（日本版 0-NET）（仮称）に関連する令和 2 年度概算要求について

令和 2 年

1月 第4回 検討会

- 検討会報告書（案）について
- 職業情報提供サイト（日本版 0-NET）（仮称）に関連する令和 2 年度予算及び調達について

7月 第5回 検討会

- 職業情報提供サイト（日本版 0-NET）（仮称）運用開始後のレビューについて

現状・課題

平成31年度予算額 458,727(72,204)千円

- 人口減少下で安定的な経済成長を実現し、国全体の労働生産性の向上を図るためには、一人ひとりが持つ能力を最大限に活かせるよう、**転職・再就職など多様な採用機会を拡大することが必要**。この多様な採用機会の拡大のためには、転職希望者等が持つ職業スキルや経験等を活かした就職活動や企業の採用活動が行えるよう「**職業情報の見える化**」を進めることが重要。また、「見える化」された職業情報が有効活用されるためには、ユーザがいつでも手軽に情報を入手できるようサイトによる無料提供が効果的。
- そのため、**職業情報提供サイト(日本版O-NET)(仮称)を構築し**、広く求人者・求職者等に職業情報を提供することにより、効果的なマッチングを図る。

概要

目的 職業を「ジョブ」「タスク」「スキル」等の観点から分析し、労働市場の共通言語・共通基準(*)としてデータベース化することで、職業情報を「見える化」し、求職者等の就職活動や企業の採用活動等を支援する。

(*)「共通言語」とは、誰もが共通の認識で誤解無く使用することができる言葉・用語、「共通基準」とは、業種間・企業間等で共通して使用できる基準を指す。

対象者 キャリアコンサルタント等の専門家、需給調整機関の担当者、企業の人事管理担当者、求職者(高齢者、障害者等を含む)、学生等

活用領域 就職・転職・進路指導、企業の人事労務管理・マネジメント等

提供する職業情報 職業解説(視覚情報を含む)、タスク・スキル等の定性・定量データ、各種官公庁統計データ等(約500職業(別添)を想定)

主な機能

- ・職業検索(フリーワード、職業分野、資格・スキル・知識等からの検索等)
- ・キャリア分析(自己のこれまでの職歴等により、保有しているスキル・知識等のレベルと、希望する職業で求められるスキル・知識等との類似性やギャップを照合できる機能)
- ・人材採用支援(職業のタスク・スキル等情報を自社の求人内容等に合うよう編集した職務要件シートを作成する機能)
- ・人材活用シミュレーション(企業内人材活用の際して、各職業間のスキル・知識等の類似性やギャップを比較できる機能)
- ・外部サイト(ハローワークインターネットサービス、職場情報総合サイト等)との連携機能

日本版O-NET(仮称)のコンテンツ (イメージ)



職業情報提供サイト(日本版O-NET)(仮称)で提供する職業情報コンテンツのイメージ

職業を「ジョブ」「タスク」「スキル」等の観点から分析し、労働市場の共通言語・共通基準としてデータベース化する。具体的には職業解説、タスク・スキル等の定性・定量データから構成される職業情報コンテンツを掲載する。

【職業解説】

職業名・別名・類似職業名

職業分類・産業分類

仕事の内容

就業経路(必要な学歴・資格等)

労働条件の特徴

用語解説(32年度以降)

【タスク・スキル等】

興味 ※

- ・現実的、研究的、芸術的、社会的、企業的、慣習的の6項目
- ・レベル幅:1~5

価値観 ※

- ・達成感、自律性、社会的認知・地位、労働条件等10項目
- ・レベル幅:1~5

基盤スキル ※

- ・読解力、傾聴力、文章力、説明力、数学的素養等の14項目
- ・レベル幅:0~7

職能横断的スキル ※

- ・複雑な問題解決、他者との調整、時間管理等の25項目
- ・レベル幅:0~7

体系的知識 ※

- ・経済学・会計学、人事労務管理、通信技術等の33項目
- ・レベル幅:0~5

仕事の性質 ※

- ・他者とのかわり、屋外作業、反復作業等25項目
- ・レベル幅:1~5(一部0~1)

学歴 ※

- ・「高卒未満」~「博士課程卒」までの9項目
- ・数値幅:0~1(該当するかどうか)

入職前後の訓練期間 ※

- ・「特に必要ない」~「10年超」までの10項目
- ・数値幅:0~1(該当するかどうか)

入職前の実務経験 ※

- ・「特に必要ない」~「10年超」までの10項目
- ・数値幅:0~1(該当するかどうか)

タスク(課業) ※

- ・タスク内容:10~20項目(定性データ)
- ・数値幅(タスク実施率):0~1

資格

道具・機材(32年度以降)

情報技術スキル(32年度以降)

・ ※は定量的なデータを収集するもの

【その他】

各種官公庁統計データ ※

(詳細検討中)

- ・就業者数、労働時間、賃金、年齢の4項目
- ・国勢調査、賃金構造基本統計調査等のデータ

他サイトとの連携

- ・ハローワークインターネットサービス、職場情報総合サイト、ジョブ・カード制度総合サイト、社会人学習者向け情報発信ポータルサイト、関連団体等

職業情報提供サイト(日本版O-NET)(仮称)収録職業一覧(491職業)(※最終的に職業名は変更の可能性があります。)

Table with 491 rows and 4 columns listing various professions such as 1 鑄造設備オペレーター/鑄造工, 2 鍛造設備オペレーター/鍛造工, 3 NC工作機械操作(オペレーター), 4 金型製作, 5 金属プレス, 6 溶接工, 7 めっき工, 8 鉄鋼製造, 9 非破壊検査員, 10 金属精錬技術者(非鉄), 11 自動車組立, 12 機械組立, 13 計器組立, 14 電子機器組立, 15 家電修理, 16 プラント設計技術者, 17 機械設計技術者, 18 光学機器組立, 19 半導体製造, 20 医療用画像放射線機器組立, 21 自動車技術者, 22 精密機械技術者, 23 航空機技術者, 24 半導体技術者, 25 物流設備管理・保安, 26 織布オペレーター, 27 染色工, 28 ミシン縫製, 29 材木製造, 30 合板製造, 31 家具製造, 32 紡績オペレーター, 33 紙器製造, 34 紡織設備管理・保安, 35 建具製造, 36 食品技術者, 37 豆腐製造、豆腐職人, 38 パン製造, 39 洋菓子製造、パティシエ, 40 和菓子製造、和菓子職人, 41 乳製品製造, 42 水産物製品製造, 43 冷凍加工食品製造, 44 惣菜製造, 45 清酒製造, 46 みそ製造, 47 しょうゆ製造, 48 ハム・ソーセージ・ベーコン製造, 49 ワイン製造, 50 ビール製造, 51 かん詰・びん詰・レトルト食品製造, 52 野菜つけ物製造, 53 陶磁器製造, 54 ガラス食器製造, 55 プラスチック成形, 56 靴製造, 57 かばん・袋物製造, 58 漆器工, 59 貴金属・宝石細工, 60 玩具(おもちゃ)製造, 61 製版作業, 62 印刷作業, 63 製本作業, 64 医薬品製造, 65 生産・品質管理技術者, 66 タイヤ製造, 67 化粧品製造, 68 調香師, 69 石油精製オペレーター, 70 原子力技術者, 71 発電所運転・保守, 72 分析化学技術者, 73 陶磁器技術者, 74 ファインセラミックス製造技術者, 75 化学製品製造オペレーター, 76 石工, 77 花火師, 78 高分子化学技術者, 79 バイオケミカル技術者, 80 電気技術者(強電), 81 電子機器技術者, 82 電気通信技術者, 83 建築設計技術者, 84 建築施工管理技術者, 85 土木設計技術者, 86 土木施工管理技術者, 87 測量士, 88 CADオペレーター, 89 大工, 90 型枠大工, 91 鉄筋工, 92 鉄骨工, 93 とび, 94 建設機械オペレーター, 95 建設・土木作業員, 96 潜水士, 97 さく井工・ボーリング工, 98 舗装工, 99 ブロック積み, 100 タイル工, 101 左官, 102 建築板金, 103 サッシ取付, 104 内装工, 105 建築塗装工, 106 防水工, 107 保温工事, 108 電気工事士, 109 配管工, 110 エレベーター据付, 111 軌道工, 112 送電線工事, 113 解体工, 114 システムエンジニア(アプリケーションシステム), 115 プログラマー, 116 システムエンジニア(基盤システム), 117 プロジェクトマネージャー(IT), 118 コンサルタント(IT), 119 営業(IT)/セールスエンジニア, 120 システムエンジニア(WEBサイト), 121 システムエンジニア(組込み、IoT), 122 ソフトウェア開発(ソフトウェア製品), 123 ソフトウェア開発(スマートフォンアプリ、ゲーム), 124 ヘルプデスク(IT), 125 運用管理(IT)/システム運用管理, 126 セキュリティ監視・運用, 127 データサイエンティスト, 128 デジタルビジネス・インベーター, 129 AIエンジニア, 130 一般事務・庶務事務, 131 経理事務, 132 人事事務, 133 広報事務/広報・PRスタッフ, 134 銀行窓口事務, 135 貿易事務, 136 損害サービス事務, 137 インターネット通信販売受付事務, 138 学校事務, 139 医療事務, 140 秘書, 141 受付, 142 法務事務/企業法務, 143 コンプライアンス推進事務, 144 IR広報, 145 データ入力, 146 総務事務, 147 企画・調査事務, 148 調剤薬局事務, 149 介護事務, 150 生産・工程管理事務, 151 営業事務, 152 マーケティング・リサーチャー, 153 速記者, 154 アクチュアリー, 155 証券アナリスト, 156 内部監査人, 157 弁護士補助/パラリーガル, 158 広報コンサルタント, 159 人事コンサルタント, 160 ファンドマネージャー, 161 知的財産コーディネーター, 162 知的財産サッチャー, 163 M&Aマネージャー, 164 デパート仕入担当, 165 デパート外商営業, 166 商品管理, 167 商品開発, 168 OA機器販売, 169 生命保険・損害保険外務, 170 銀行・信用金庫渉外, 171 ディーラー, 172 証券外務員, 173 保険会社代理店営業/ソシター, 174 CD等販売, 175 化粧品販売/美容部員, 176 医薬品販売, 177 清涼飲料ルートセールス, 178 ホテル・旅館支配人, 179 銀行支店長, 180 スーパー店長, 181 介護施設長, 182 スーパーレジ係, 183 デパート店員, 184 スーパー店員, 185 商社営業, 186 住宅・不動産営業, 187 自動車営業, 188 広告営業, 189 印刷営業, 190 医療情報担当者(MR), 191 コールセンターオペレーター, 192 せり人, 193 フラワーショップ店員, 194 電器店店員, 195 書店員, 196 メガネ販売, 197 スポーツ用品販売, 198 ホームセンター店員, 199 ペットショップ店員, 200 衣料品販売, 201 検針員, 202 フランチャイズチェーン・スーパーバイザー, 203 シューフィッター, 204 駅構内売店店員, 205 コンビニエンスストア店員, 206 ベーカリーショップ店員, 207 旅館・ホテルフロントスタッフ, 208 旅館・ホテル客室清掃整, 209 ウエイター・ウエイトレス, 210 ファーストフード店員, 211 給食調理人, 212 旅館・ホテル接客係, 213 調理補助, 214 西洋料理調理人(コック), 215 日本料理調理人(板前), 216 すし職人, 217 そば・うどん調理人, 218 中華料理調理人, 219 ハンバーガー店マネージャー, 220 カフェ店員, 221 ソムリエ, 222 パーテナー, 223 ラーメン調理人, 224 旅行会社カウンター係, 225 ツアーコンダクター, 226 観光バスガイド, 227 遊園地スタッフ, 228 キャディ, 229 通訳ガイド, 230 理容師, 231 美容師, 232 エステティシャン, 233 メイクアップアーティスト, 234 クリーニング師, 235 スポーツインストラクター, 236 自動車教習指導員, 237 音楽教室講師, 238 ビデオレンタル店員, 239 レンタカー店舗スタッフ, 240 プライダルコーディネーター, 241 家政婦(夫), 242 ピアノ調律師, 243 ネイリスト, 244 アロマセラピスト, 245 リフレクソロジスト, 246 きもの着付指導員, 247 葬祭ディレクター, 248 中小企業診断士, 249 経営コンサルタント, 250 ファイナンシャル・プラン, 251 社会保険労務士, 252 司法書士, 253 行政書士, 254 土地家屋調査士, 255 翻訳者, 256 通訳者, 257 弁護士, 258 公認会計士, 259 弁理士, 260 税理士, 261 不動産鑑定士, 262 気象予報士, 263 児童相談所相談員, 264 福祉事務所ケースワーカー, 265 保育士, 266 介護支援専門員/ケアマネジャー, 267 訪問介護員/ホームヘルパー, 268 施設介護員, 269 手話通訳者, 270 キャリアカウンセラー/キャリアコンサルタント, 271 福祉用具専門相談員, 272 国家公務員(行政事務), 273 地方公務員(行政事務), 274 警察官, 275 海上保安官, 276 麻薬取締官, 277 入国警備官, 278 裁判官, 279 検察官, 280 家庭裁判所調査官, 281 法務教官, 282 刑務官, 283 税務事務官, 284 外交官, 285 国際公務員, 286 陸上自衛官, 287 海上自衛官, 288 航空自衛官, 289 消防士, 290 看護師, 291 助産師, 292 薬剤師, 293 歯科医師, 294 保健師, 295 臨床検査技師, 296 細胞検査士, 297 診療放射線技師, 298 臨床工学技士, 299 歯科技工士, 300 歯科衛生士, 301 理学療法士(PT), 302 作業療法士(OT), 303 言語聴覚士, 304 視能訓練士, 305 栄養士, 306 あんまマッサージ指圧師, 307 柔道整復師, 308 診療情報管理士, 309 はり師・きゅう師, 310 義肢装具士, 311 幼稚園教員, 312 小学校教員, 313 中学校教員, 314 専門学校教員, 315 図書館司書, 316 高等学校教員, 317 大学・短期大学教員, 318 学芸員, 319 福祉ソーシャルワーカー, 320 スクールカウンセラー, 321 ベビーシッター, 322 心理カウンセラー, 323 救急救命士, 324 外科医, 325 小児科医, 326 内科医, 327 精神科医, 328 産婦人科医, 329 医療ソーシャルワーカー, 330 治療コーディネーター, 331 国際協力専門家, 332 学習塾教師, 333 日本語教師, 334 特別支援学校教員, 335 職業訓練指導員, 336 英会話教師, 337 社会教育主事, 338 土木・建築工学研究者, 339 情報工学研究者, 340 医学研究者, 341 鑑識技術者, 342 薬学研究者, 343 メカトロニクス研究者, 344 バイオテクノロジー研究者, 345 宇宙開発技術者, 346 エコノミスト, 347 路線バス運転手, 348 観光バス運転手, 349 タクシー運転手, 350 パイロット, 351 航海士, 352 船舶機関士, 353 電車運転手, 354 鉄道車掌, 355 空港グランドスタッフ, 356 駅務員, 357 鉄道運転計画・運行管理, 358 自動車整備士, 359 ガソリンスタンド・スタッフ, 360 道路パトロール隊員, 361 タクシー配車オペレーター, 362 トラック運転手, 363 トレーラートラック運転手, 364 ダンプカー運転手, 365 送迎バス等運転手, 366 介護タクシー運転手, 367 ドローンパイロット, 368 宅配便配達員, 369 新聞配達員, 370 ルート配送ドライバー, 371 自転車販売, 372 化粧品訪問販売, 373 リサイクルショップ店員, 374 携帯電話販売, 375 じんかい収集作業, 376 産業廃棄物処理技術者, 377 産業廃棄物収集運搬作業, 378 マンション管理, 379 ボイラーオペレーター, 380 マンション管理フロント, 381 雑踏・交通誘導警備員, 382 施設警備員, 383 ビル施設管理, 384 駐車場管理, 385 ビル清掃, 386 鉄道車両清掃, 387 引越作業員, 388 積卸作業, 389 梱包作業/荷造作業, 390 港湾荷役作業, 391 倉庫・冷蔵倉庫作業, 392 ピッキング作業, 393 ハウスクリーニング, 394 ペストコントロールオペレーター(従事者), 395 製品包装作業, 396 工場労務作業, 397 小売店バックヤード作業, 398 通関士, 399 航空管制官, 400 ディスパッチャー(航空機運航管理者), 401 客室乗務員, 402 航空整備士, 403 船員, 404 新聞記者, 405 雑誌記者, 406 テレビカメラマン, 407 報道カメラマン, 408 舞台美術, 409 舞台照明, 410 インダストリアルデザイ, 411 テクニカルライター, 412 CGデザイナー, 413 WEBクリエイター/WEBデザイナー, 414 ゲームクリエイター, 415 アートディレクター, 416 広告デザイナー, 417 広告ディレクター, 418 グラフィックデザイナー, 419 コピーライター, 420 ディスプレイデザイナー, 421 インテリアデザイナー, 422 インテリアコーディネーター, 423 カラーコーディネーター, 424 ファッションデザイナー, 425 パターン, 426 イラストレーター, 427 アニメーター, 428 看板制作, 429 テクニカルイラストレー, 430 商業カメラマン, 431 スタイリスト, 432 ブックデザイナー, 433 テキスタイルデザイナー, 434 フラワーデザイナー, 435 ジュエリーデザイナー, 436 フードコーディネーター, 437 WEBディレクター, 438 動画制作, 439 図書編集者, 440 雑誌編集者, 441 テレビ・ラジオ放送技術者, 442 録音エンジニア, 443 映像編集者, 444 放送記者, 445 アナウンサー, 446 放送ディレクター, 447 きゆう務員, 448 アウトドアインストラクター, 449 動物園飼育員, 450 農業技術者, 451 造園工, 452 獣医師, 453 水族館飼育員, 454 調教師, 455 犬訓練士, 456 トリマー, 457 水産技術者, 458 林業技術者, 459 林業作業, 460 プリーダー, 461 パークレンジャー, 462 酪農家, 463 水産養殖, 464 稲作農業者, 465 ハウス野菜栽培者, 466 果樹栽培者, 467 花き栽培者, 468 畜産技術者, 469 沿岸漁業者/沿岸漁師, 470 動物看護士, 471 産業用ロボットの研究開発, 472 産業用ロボットの設置・設定, 473 産業用ロボットのメンテナンス, 474 太陽光発電の企画・調査, 475 太陽光発電の設計・施工, 476 太陽光発電のメンテナンス, 477 フォークリフト運転作業員, 478 ネット通販の企画開発, 479 ネット通販の運営, 480 Webマーケティング(ネット広告・販売促進), 481 学童保育指導員, 482 児童指導員(児童養護施設), 483 障害者福祉施設指導員(生活支援員・就労支援員等), 484 老人福祉施設生活相談員, 485 看護助手, 486 植物工場の研究開発, 487 植物工場の設計・施工, 488 植物工場の栽培管理, 489 議員/代議士, 490 会社経営者, 491 起業・創業

今年度の開発等について

職業情報提供サイト（日本版O-NET）（仮称）整備に当たっての基本方針

「デジタル・ガバメント推進標準ガイドライン」（平成31年2月25日最終改定、各府省情報化統括責任者（CIO）連絡会議決定）では、デジタル技術を活用して利用者中心のサービス・業務改革を推進するためには、利用者のニーズを把握した上で、利用者の立場からの検討に基づいて業務要件を定義する必要があることから、十分な検討期間と体制を確保した上で、サービス利用者の行動等に着眼したサービスデザイン思考で、現状把握、分析、検討、調整等を実施することとされている。

さらに、厚生労働省における情報システムは「「デジタル・ガバメント推進標準ガイドライン」に基づく、調達仕様書作成の手引（記載例）」（平成31年2月改定、厚生労働省）に基づき調達することとなっているため、本サイトの開発についてはこれらに基づき整備を進めることとする。

◇サービス設計12箇条

…「デジタル・ガバメント推進標準ガイドライン」において、利用者中心の行政サービスを提供するために必要となる心構えと視点を示したものの。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| [1] 利用者のニーズから出発する | [7] 利用者の日常体験に溶け込む |
| [2] 事実を詳細に把握する | [8] 自分で作りすぎない |
| [3] エンドツーエンドで考える | [9] オープンにサービスを作る |
| [4] 全ての関係者に気を配る | [10] 何度も繰り返す |
| [5] サービスはシンプルにする | [11] 一遍にやらず、一貫してやる |
| [6] デジタル技術を徹底的に活用する | [12] システムではなくサービスを作る |

本サイトの開発の進め方

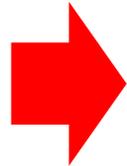
本サイトが中長期的に継続して利活用されるためには、利用者目線に沿ったユーザインタフェースを実現していくことが重要である。このため、本サイトの開発に当たっては、「デジタル・ガバメント推進標準ガイドライン」に基づき「サービスデザイン思考」を取り入れることが望ましいと思料。

「サービスデザイン思考」を取り入れるに当たっては、「サービスデザイン実践ガイドブック（β版）」（2018年3月19日、内閣官房情報通信技術(IT)戦略室）に例示されているサービスデザイン思考を用いた典型的なデザインプロセスである①「Discover（発見）」フェーズ、②「Define（定義）」フェーズ、③「Develop（開発）」、④「Deliver（提供）」フェーズを参考に開発を進める方針。



具体的には、以下の手法を用いることを検討。

- ① ペルソナ分析（当該サービスの重要なポイントを分析し、典型的な利用者の目的、意識、行動等のパターンを構造化し、利用対象者を仮想の人物として定義）
- ② ジャーニーマップ（利用者体験のエンドツーエンドを旅になぞらえて整理し視覚化したもので、利用者とサービス提供側との関わりをストーリーとしてまとめたもの）
- ③ ストーリーボード（利用者の理想的な体験を絵コンテで表現）



- ・利用者目線に沿ったユーザインタフェースの実現
- ・継続して使われるサイトの実現

第1回職業情報提供サイト(日本版O-NET)(仮称)
普及・活用の在り方検討会

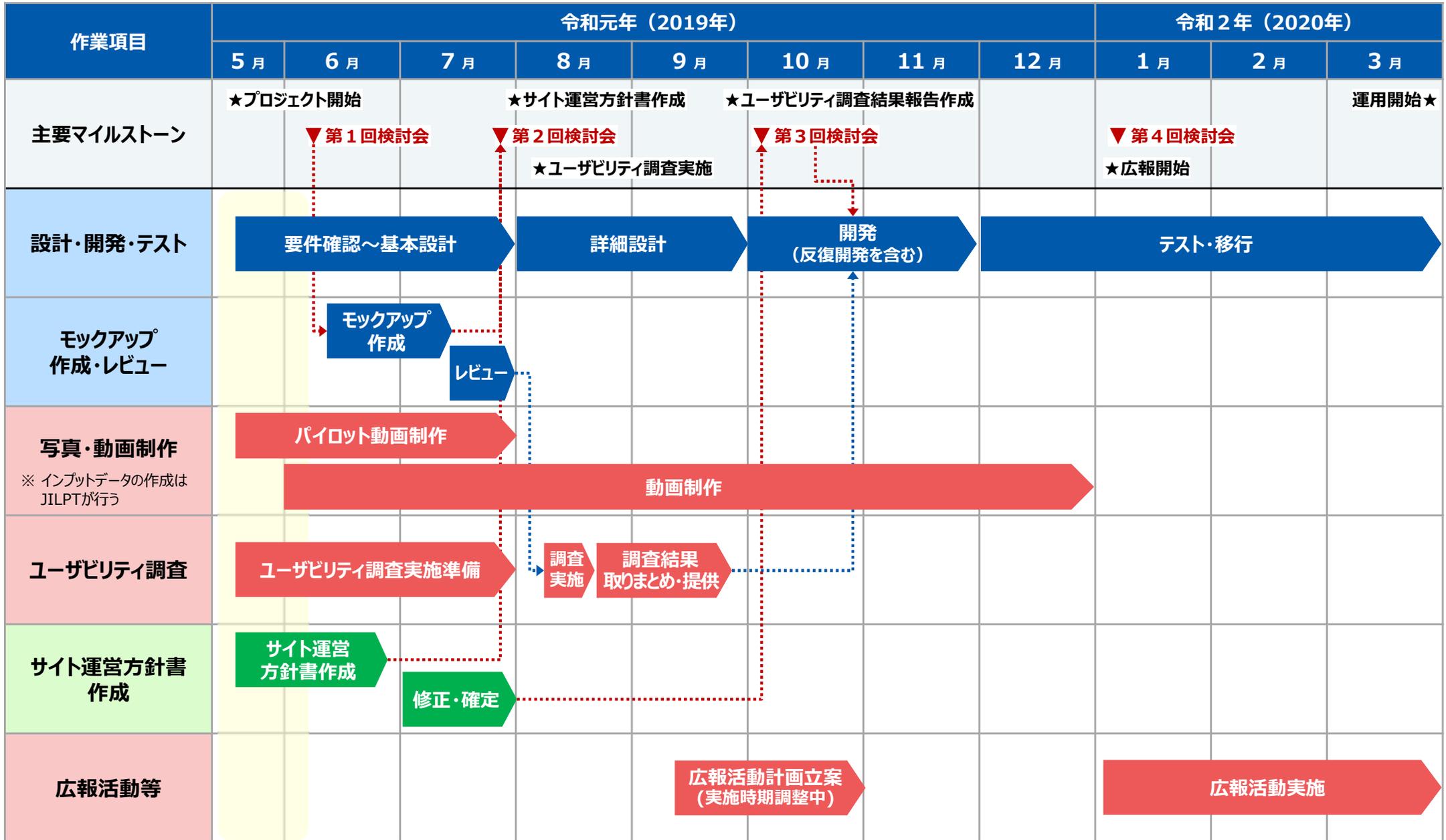
今年度の「職業情報提供サイト(日本版O-NET)(仮称)」 構築スケジュールについて

令和元年6月10日

株式会社野村総合研究所
システムコンサルティング事業本部
社会ITコンサルティング部

部長 山本 勝範

今年度の「職業情報提供サイト(日本版O-NET)(仮称)」構築スケジュールについて



職業情報提供サイト(日本版O-NET)(仮称)の設計開発について

2019年06月10日

ソフトバンク・テクノロジー株式会社
公共事業部

- サービスデザイン思考を用いたサイト構築方針 p3
- サービスデザイン思考ー利用者像の明確化 p4
- 機能の全体像 p5
- 画面イメージ p6-10

サービスデザイン思考を用いたサイト構築方針

本サイトが中長期的に継続して利活用されるためには、**利用者目線に沿ったユーザインタフェース**が必要不可欠となります。

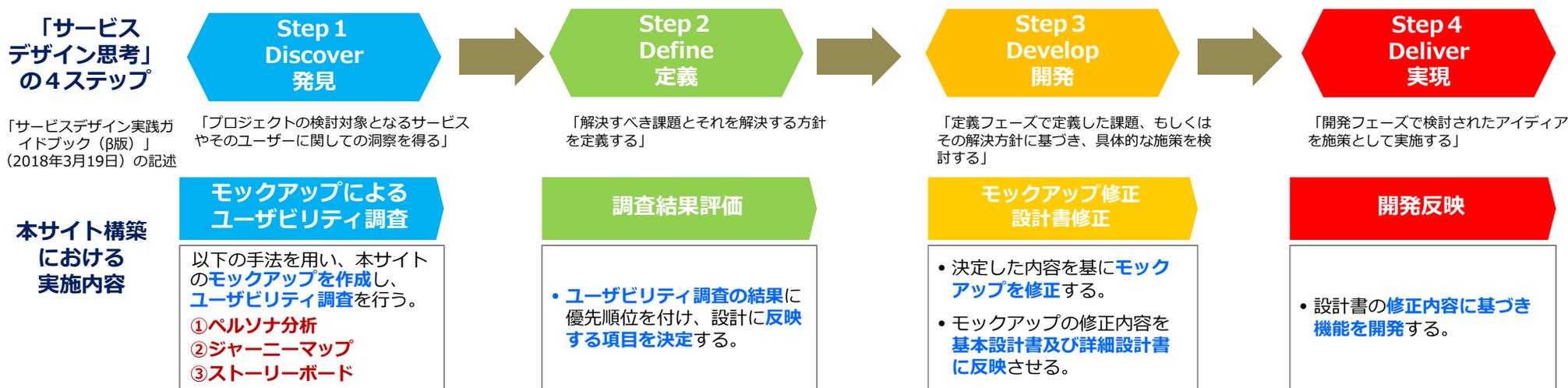
利用者目線に沿ったユーザインタフェースを実現するためには、利用者の顕在的・潜在的ニーズを掘り起こし、デザイン・設計・開発に組み入れることにより、**利用者にとっての「価値」の最大化**が実現できるサイトを目指すことが望ましく、そのため、サイトの構築に当たっては、「サービスデザイン思考」を取り入れることが望ましいと考えています。

サービスデザイン
思考
Service Design Thinking

人間中心設計
Human-Centered
Design

- ◆ サービスデザインとは、ユーザーが感じる体験価値を重視して、サービスそのもの（タッチポイント）のデザインにとどまらず、事業全体を再設計するプロセスを指す。（事業構想 2014年11月号）
- ◆ このサービスデザインという言葉は、欧米では、数年前に話題になったデザイン思考（Design Thinking／デザインシンキング）という概念を具体的にビジネスに落とし込む、という文脈で用いられている。（株式会社コンセントHPより）

「サービスデザイン思考」の実践に当たっては、「サービスデザイン実践ガイドブック（β版）」（2018年3月19日 内閣官房情報通信技術(IT)戦略室）に例示された「サービスデザイン思考」の4ステップを参考に、本サイト構築では以下の流れで設計開発を実施いたします。



ユーザインターフェイスの設計に当たっては、実際の利用者像を想定しながら行います。本サイトの代表的な利用者像としては下記を想定しています。

1 求職者

高校生、大学生、求職者（20代後半～40代前半）、中高年齢者

2 企業の人事管理担当者

大手企業の採用担当者、中小企業の経営者

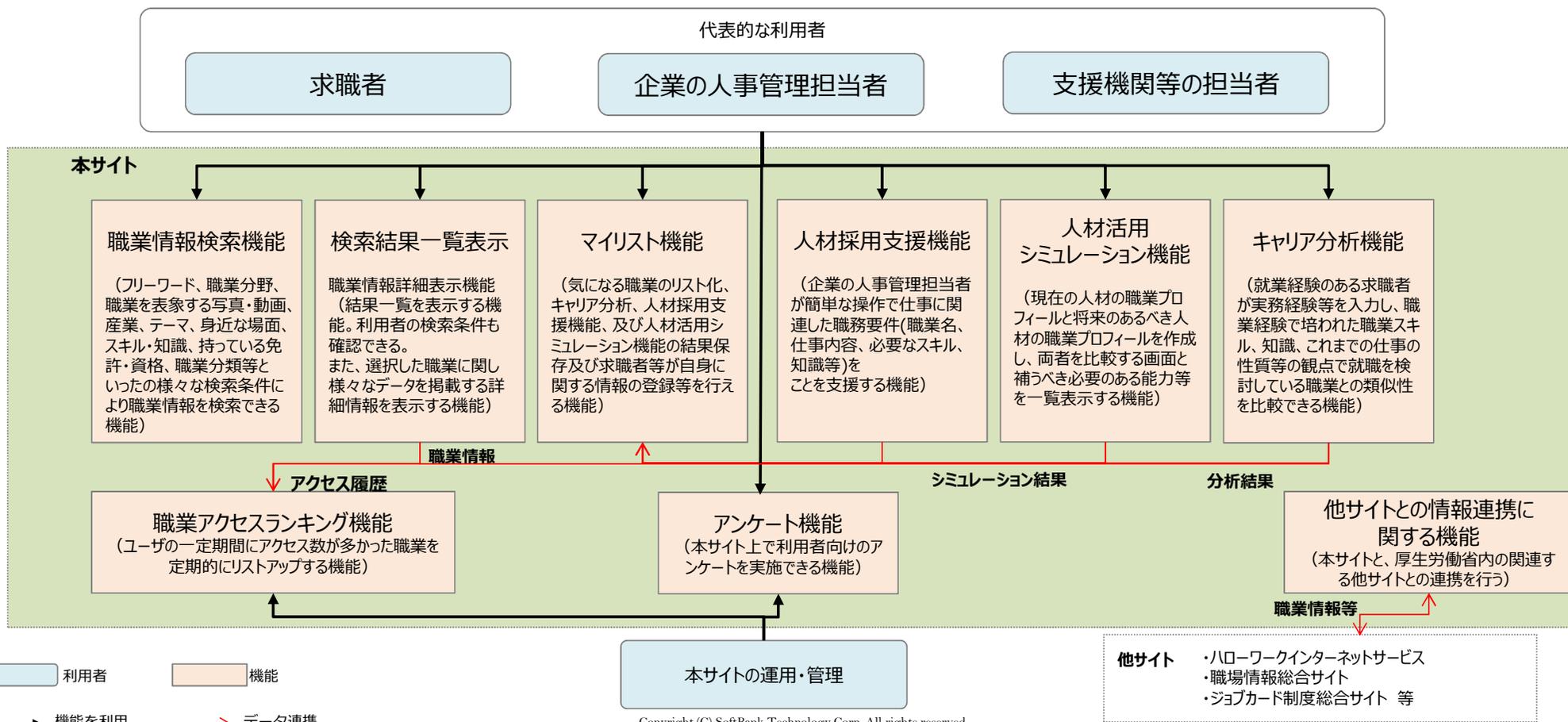
3 支援機関等の担当者

ハローワークの担当者、大手人材会社のキャリアコンサルタント、工業高校・総合高校の進路指導担当教諭、大学キャリアセンターのキャリアカウンセラー、就職困難者支援機関の担当者

機能の全体像

本サイトで必要となる機能の全体像は以下を想定しております。

サイト本体部分に関する機能については、**利用者向け**と**運用・管理向け**機能に大きく分けられ、前者は一般の利用者に広く公開される機能、後者は運用・管理を行う者に限定的に公開される機能となります。



利用者
 機能

機能を利用
 データ連携

画面イメージ（トップ画面）

- 【ポイント】
- ・フリーワード、職業分野、写真・動画など、様々な切り口での検索を分かり易く配置する
 - ・各種分析ツールへの導線を分かり易くするとともに、イラストを用いて機能を想起させる



画面イメージ（職業検索画面）

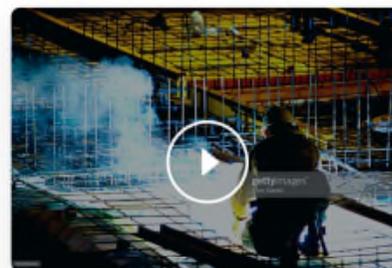
- 【ポイント】 ・フリーワード、職業分野等様々な切り口での検索への遷移を容易にする(以下は「写真・動画で検索」の画面イメージ)
- ・検索条件の入力にビジュアルを用い、直感的且つ素早い入力を実現し利便性を高める



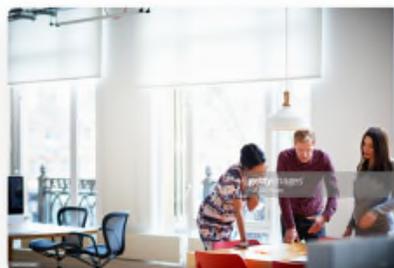
写真・動画で検索



モノづくりの職業



建設の職業



オフィスの職業



販売の職業



画面イメージ（職業情報詳細表示画面）

【ポイント】 ・写真及び動画を目立つ場所に配置し、各職業の内容を視覚的に伝えることで分かり易さを高める

日本版O-NET（仮称） キャリアコンサルタント・需給調整機関 | 求職者・学生 | 企業の人事担当

お仕事を探す

フリーワード検索

職業分野 | **写真・動画** | 産業別 | テーマ | 身近な場面 | 免許・資格 | 職業別

IDP > 写真・動画で検索 > ソフトウェア開発（ゲーム・アプリ）

ソフトウェア開発（ゲーム・アプリ）



ユーザーや顧客のニーズ、マーケティング分析を踏まえ、設計や開発・テストを通してソフトウェア製品として落とし込む仕事。

ソフトウェア開発は営業から始まる。顧客が悩んでいる課題に対し、そのボトルネックとなっている部分や、それにシステム開発によって対応できるのかなど、仮説を立てる。ときには顧客にインタビューを行うこともある。

顧客課題を特定できたら、システムの企画・立案に入る。ソフトウェア開発では、どれだけ顧客の要望を聞き入れることができ、それを具体的な企画として落とし込めるかが重要となる。そのため企画提案では、顧客の納得がいくまで、企画案の修正をする必要がある。

顧客との契約が成立すると、要件定義・設計・開発・テスト…といった工程を通し、具体的なソフトウェアが開発されていく。

労働条件

Point! | 上流工程を専門とするシステムエンジニアは裁量労働制が採用される場合がある

Point! | 成果物ベースでの業務が多いため、フルフレックスタイム制を導入する企業も多い

就職経路

（この職業に就くためのステップを説明します。）

職業プロフィール

	レベル
読解力	4
傾聴力	3
文章力	5
説明力	4
数学力	1
科学力	5

職業横断的スキル

	レベル
準備	5
片付け	2

知識

- コンピュータと電子工学
- 工学
- 設計
- 通信技術
- 数学

画面イメージ（キャリア分析入力画面）

【ポイント】 ・キャリア分析での自分の経歴入力を、フリーワード検索でも絞り込み検索でも行い易くする

日本版O-NET（仮称） キャリアコンサルタント・業給調整機関 | 求職者・学生 | 企業の人事担当

お仕事を探す
フリーワード検索

職業分野 | 写真・動画 | 産業別 | テーマ | 身近な場面 | 免許・資格 | 職業別

IDE > キャリア分析

キャリア分析

今まで経験した職業を入力する | 資格入力 | 就きたい職業を入力する

今まで経験した職業 + 職業を追加する

バイオケミカル技術者 > プログラマー >

フリーワード検索 絞り込み検索

フリーワード検索

資格を入力する >

絞り込み検索

分野 | 業種 | 職業 | 期間

検索

入力した「過去に経験した職業名」が一覧表示されます。

過去に経験した職業を入力し、検索します。各職業のスキル値を調整できます。

過去に経験した職業は、職業分野や業種などによって、絞り込み検索を行うこともできます。

画面イメージ（キャリア分析結果画面）

- 【ポイント】 ・視認性の高いグラフでフィットギャップを表現し、利用者が容易に状況を理解できるようにする
- ・分かりやすさを高めるよう、希望する職業に関する画像もすぐに参照できるように配置する

日本版O-NET（仮称） キャリアコンサルタント・需供調整機関 | 求職者 | 学生 | 企業

IQE > キャリア分析 > キャリア分析結果

キャリア分析結果

あなたのプロフィールと希望職業から、適合度や必要なスキルを分析しました。

★
マイリストに追加

おしごと能力 プロフィール

お仕事適合度
80%

ご希望の職業
ソフトウェア開発（スマ
ホ・ゲーム）

スキル	あなた	希望職業
読解力	4	5
傾聴力	3	4
文章力	5	4
説明力	4	3
数学力	1	4
科学力	5	2

今までご経験された職業

バイオケミカル技術者 > プログラマー >
ダンパー運転手 > 一般事務 >

🧠 基礎スキル

	あなた	希望職業
読解力	4	5
傾聴力	3	4
文章力	5	4
説明力	4	3
数学力	1	4
科学力	5	2

🌸 職業横断的スキル

	あなた	希望職業
読解	4	5
仲親	3	2

情報革命で人々を幸せに
～ 技術の力で、未来をつくる ～

 SoftBank Technology

職業情報提供サイト（日本版O-NET）（仮称）*に掲載する
写真動画制作、ユーザビリティ調査及びプロモーション・
パブリシティについて

令和元年6月10日

株式会社博報堂

*本プレゼンテーションでは以下「日本版O-NET（仮称）」と略称

1. 日本版O-NET (仮称) 上で紹介する「職業紹介写真・動画」の制作方法のポイント

ポイント1

実際の作業・勤務状況を取材し、臨場感のある現場の映像をベースに、「職業紹介写真・動画」を制作する。

ポイント2

客観的な情報を基に職業紹介写真・動画を制作する。具体的には、JILPTが作成した職業解説文をベースにナレーション及びテロップを作成し、写真・動画を構成する。

ポイント3

サイトの特性（厚生労働省管理運用サイト）を考慮した特定の企業やお店の広告にならないような注意を図る。

ポイント4

映像倫理のチェックを受けた動画を用意する。

サンプル動画の再生

2. ユーザビリティ調査の実施方針について

ユーザビリティ調査の目的

日本版O-NET（仮称）の主な利用者（ボリュームゾーン）を想定し、ユーザーインターフェース（UI）の適正性を確認する。

ユーザビリティ調査の進め方

主な利用者（ボリュームゾーン）のペルソナ像に合わせて、調査対象者を選定し、インタビュー等による調査を実施する。
5グループ × 10名 合計 50名程度を想定。

評価ポイント

次の5つの軸で、サイトのUIを評価する。

1. 目的を達成するための操作性
2. サイト利用価値の伝達性
3. サイト利用の応用性
4. コンテンツの適切性
5. 想定外利用時の判別性



調査で使用する職業（案）

※JILPTが作成するインプットデータの納品時期や、弊社の写真・動画作成プロセスの試行・検証も兼ねていること等を踏まえ、以下の職業を選定

パン製造
大工
建設機械オペレーター
スーパーレジ係
商社営業
広告営業
印刷営業
検針員
コンビニエンスストア店員
ビル清掃
日本料理調理人（板前）
カフェ店員
介護支援専門員（ケアマネジャー）
訪問介護員（ホームヘルパー）
施設介護員
国家公務員（行政事務）
地方公務員（行政事務）
警察官
麻薬取締官
外交官
国際公務員
看護師
作業療法士（OT）
中学校教員
高等学校教員
タクシー運転手
パイロット
タクシー配車オペレーター
航空管制官
新聞記者
雑誌記者
雑誌編集者

3. 広報計画について

パブリシティ獲得を目的としたPR活動において
発表前に露出の山場を段階的に作るべく、戦略的な情報発信を実施。

プレスリリース

- 配信件数：100～150件を想定
- 配信方法：MAIL、FAX、PR TIMES
- 配信先：新聞、雑誌、WEB、TVをリストアップ

リリース要素

- 社会的背景
 - 生産性向上のために、単線型のキャリアパス見直し
 - 社会的インフラとしての職業情報の整備
 - 職業情報の提供による労働市場の活性化
 - 効果的なジョブマッチングを推奨するために活用
- 「日本版O-NET」(仮称)について
 - 総合的な職業情報の提供サイト
 - 職業に必要な知識・スキル等の提供

【露出イメージ(一例)】



メディアプロモート

- 単なるリリースアプローチだけではなく、社会背景・サイトの重要性を踏まえた記者への個別インプットの実施。
→ 良質な露出獲得と認知拡大に寄与
- 記者や担当者へ個別に直接的なアプローチ
- 記者クラブ以外のカバーしづらいメディアについても、PRチームが露出獲得に向けてフォロー
- 膨大なメディアデータベースをもとに注力すべきメディアは幅広くカバー
- WEBメディアへの露出獲得も狙うことで幅広い世代への記事接触を狙う

広報スケジュール

情報入れ込みはリリースアウト時から想定



- ✓ WEBメディア(ストレートニュース系・ビジネス系)
- ✓ ビジネス誌
- ✓ リーフレット(サイト上でダウンロードできる状態を想定)、SNS

- ✓ 報道/経済系番組
- ✓ 全国紙

第1回職業情報提供サイト(日本版O-NET)(仮称)
普及・活用の在り方検討会

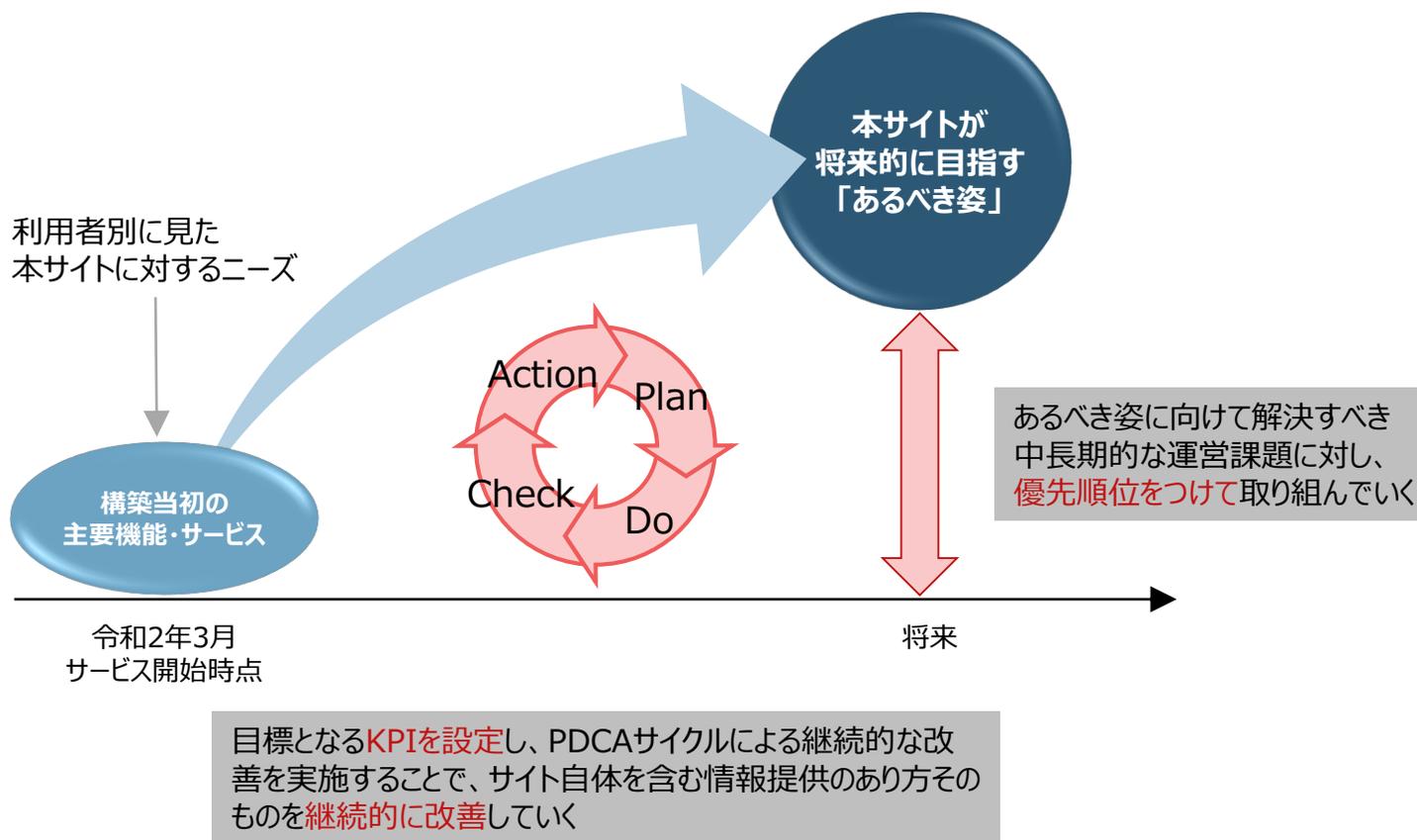
サイト運営方針書(構成案)について

令和元年6月10日

株式会社野村総合研究所
システムコンサルティング事業本部
社会ITコンサルティング部

部長 山本 勝範

サイト運営方針書作成のスタンス



サイト運営方針書(構成案)について

サイト運営方針書の構成案

① サイト運営方針書の目次相当

② サイト運営の骨格となる大もとの考え方

③ サイトに対するニーズ(過去の調査より)

④ 今後の課題と解決に向けた具体的方策

職業情報提供サイト(日本版O-NET)(仮称)サイト運営方針書(構成案)

これまでの調査結果(出典1・出典2参照)を踏まえ作成

本業務において新たに作成したもの

観点			基本的な考え方	サイトに対するニーズ	今後の課題	取組時期	課題解決のための方策	優先順位
サイト運営方針書の目次相当。			サイト運営のよりどころとなる大もとの考え方。サイト全体を貫く骨格となる発想や観点。	現在構築中のサイトに対し、あるべき姿(理想的な状態)となるために必要なもの。サイト利用者の属性別に整理。	ニーズを満たすために解決すべき問題。「構築中の機能の改善(改)」と「追加で新規構築する機能(新)」とに分類。		課題解決に向けた具体的な手段や方法について、取り組み時期と優先順位を整理。	
基本的な考え方	情報提供のあり方	利用目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活用データ・動向などにより、職業を具体的に分かりやすく解説する。 ・ 労働市場の共通言語・共通基準としての職業情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 共通 ・ フラッシュで情報提供を行うことで、円滑かつ正確的に他サイトと各種情報をやりとりしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 改) APIの提供等、情報をやり取りする動線を整備し、サイト間の連携を図る。 	3年以内	FWIS等のサイト/API等による連携を図ることを検討する。	高
	情報ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 客観的なデータに基づき職業の特性を体系的かつ定量的に示す。 ・ 職業・職種の業務内容や給与水準、業務に必要な技術、スキル等の水準を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 求職者 ・ 業務内容や給与水準について、「正確性」と「鮮度」が担保された情報を得たい。 支援者 ・ 業務内容やキャリア展望について、「正確性」と「客観性」が担保された情報を得たい。 企業 ・ 業務内容や給与水準について、情報量と「比較検討のしやすさ」「具体的なわかりやすさ」が担保された情報を得たい。 	<ul style="list-style-type: none"> 改) 職業情報の適時更新を行う。 改) 職業情報の構成要素の追加・見直しを行う。 改) 職業人生/キャリア展望について求職者の理解を促進する情報を提供する。 	5年以内	民間求人サイト等の職業分類や職種の定義と紐付けができるよう検討を行う。	5年以内	民間求人サイト等の職業分類等の状況を把握し、紐付けの可能性を検討する。
サイトの主要機能・サービス	利用者向け機能・サービス	職業情報の検索	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求職者の適性に合わせた職業の検索や職業・業種を越えた幅広い検索ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 求職者 ・ 一般的な職業の内容や求められるスキルに関する情報を得たい。 	<ul style="list-style-type: none"> 改) 職業情報の構成要素の追加・見直しを行う。 	3年以内	JILPTによる更新のほか、AI・ビッグデータ等の活用により、職業情報を適時更新する仕組みを検討する。	高
	中長期的な(中)活用方策の(長)展開	継続的な改善活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者ニーズや社会・産業構造の変化に対応し、本サイトの持続的な発展につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 共通 ・ サイト運営の目標を可視化し、結果の分析や対応策の検討を効率的に行いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新) 目標となるKPIを設定し、PDCAサイクルによる継続的な改善を実施することで、サイト自体を含む情報提供のあり方を継続的に改善していく。 	3年以内	サイト運営の目標やKPI、評価手法等を検討・設定し、継続的に見直ししながら改善活動を行う。	高
		職業訓練カリキュラムの提案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業訓練情報との連携、職業訓練カリキュラムを提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 共通 ・ ある職業に就くための必要な職業訓練カリキュラムが必要なのか、適切に提案したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新) 各訓練機関の職業訓練情報(職業情報と就職先)を集約するとともに、職業訓練カリキュラムのスキル・知識等の情報との互換性を確保していく。 	5年以内	情報の取組の必要性や連携のあり方について検討する。	中

出典1)「仕事の世界の見える化に向けて—職業情報提供サイト(日本版O-NET)の基本構想に関する研究—」(労働政策研究・研修機構、平成30年3月)

出典2)「職業情報提供サイト(日本版O-NET)(仮称)構築に向けた調査・分析等に係るニーズ調査報告書」(野村総合研究所、平成31年3月)

サイト運営方針書(構成案)について、ご議論いただきたいポイント①

■ なぜサイト運営方針書(とその継続的な運用)が必要なのか

- 「職業情報の見える化」に向けて、本サイトは社会・産業構造の変化や利用者ニーズへ適切に対応していくことが求められている。よって、いったん構築して終わりではなく、将来的に目指す「あるべき姿」に向けた継続的な改善が必要となる(P1参照)。
- そこで、「あるべき姿」に向けた今後の課題を体系立てて整理し、課題解決の枠組みを示すことが本書の役割である。

■ サイト運営方針書の構成案

- 本書の構成は4つのブロックに分かれている(P2参照)。①～③は既存の調査報告書をもとに、以下の点に着目して整理した。
 - 提供する内容をより充実させていくこと。
 - 適時・的確に更新すること。
 - 利用者の使い勝手を改善していくこと。
- 本日は「④今後の課題と解決に向けた具体的方策」についてご意見を賜りたい。

サイト運営方針書(構成案)について、ご議論いただきたいポイント②

■ サイト運営の主な方針は以下の通り

1. 検索機能の向上

- ・ 職業情報の検索は本サイトの根幹となる重要な機能である。より適切な情報を、より簡単・容易に、よりの確に提供できるよう、工夫する。サイト利用者によって求める方向性が異なるため、各々に適した形で改善を進める。

2. 他サイトとの情報連携

- ・ どのサイト利用者も、情報を一元的かつワンストップで収集したい、というニーズがある。そこで、相互に関連する目的や役割を持つサイト群との間で動線を整備し、情報収集が円滑かつ網羅的にできるようにする。また、民間サイト等との間で各々が持つ情報をやり取りすることで、内容の相互補完や充実化に努める。

3. AI・ビッグデータの活用

- ・ フリーワード検索をより使いやすく、精度の高いものにするため、AI・ビッグデータを活用して検索機能を高度化する。
- ・ 将来的な職業の変遷に関する予測も含め、職業情報の変化に適切に対応するため、AI・ビッグデータ等を活用した情報の更新ができるようにする。

4. サイト活用方策の展開

- ・ 継続的に改善活動を実施するため、KPIを設定してサイト運営の目標を可視化し、PDCAサイクルにより評価・見直しをする仕組みを構築する。
- ・ サイトの効果的な活用方法を探るため、職業訓練情報との連携による職業訓練カリキュラム等、実証的な事業を実施していく。

職業情報提供サイト（日本版O-NET）（仮称）サイト運営方針書（構成案）

これまでの調査結果（出典1・出典2参照）を踏まえ作成

本業務において新たに作成したもの

観点		基本的な考え方	サイトに対するニーズ	今後の課題	取組時期	課題解決のための方策	優先順位	No.		
サイト運営方針書の目次相当。		サイト運営のよりどころとなる大もとの考え方。サイト全体を貫く骨格となる発想や観点。	現在構築中のサイトに対し、あるべき姿(理想的な状態)となるために必要なもの。サイト利用者の属性別に整理。	ニーズを満たすために解決すべき問題。「構築中の機能の改善(改)」と「追加で新規構築する機能(新)」とに分類。		課題解決に向けた具体的な手段や方法について、取り組み時期と優先順位を整理。				
基本的な考え方	情報提供のあり方	利用目的	共通	・ ワンストップで情報提供を行ったり、円滑かつ網羅的に他サイトと各種情報をやりとりしたい。	改) APIの提供等、情報をやり取りする動線を整備し、サイト間の連携を図る。	3年以内	HWIS等のサイトとAPI等による連携を図ることを検討する。	高	1	
				・ 労働市場の共通言語・共通基準としての職業情報を提供する。	改) 民間求人サイト等の職業分類や職種の定義と紐付けできるような検討を行う。	5年以内	民間求人サイト等の職業分類等の状況を把握し、紐付けの可能性を検討する。	中	2	
		情報ニーズ	求職者	・ 客観的なデータに基づき職業の特性を体系的かつ定量的に示す。	改) 職業情報の適時更新を行う。	3年以内	JILPTによる更新のほか、AI・ビッグデータ等の活用により、職業情報を適時更新する仕組みを検討する。	高	3	
				・ 職業・職種の業務内容や給与水準、業務に必要な技術、スキル等の水準を示す。	改) 職業情報の構成要素の追加・見直しを行う。	5年以内	JILPTによる見直しのほか、AI・ビッグデータ等の活用により、職業情報の構成要素の追加・見直しを検討する。	中	4	
					企業	改) 職業人生／キャリア展望について求職者の理解を促進する情報を提供する。	5年以内	サイト内に「トピックス」等のコンテンツを設け、キャリアに関する定性的な情報提供を行うことを検討する。	中	5
サイトの主要機能・サービス	利用者向け機能・サービス	職業情報の検索	・ 求職者の適性に合わせた職業の検索や職業・業種を越えた幅広い検索ができる。	改) 一般的な職業の内容や求められるスキルに関する情報を得たい。	3年以内	JILPTにて追加データの作成を行い、サイトDBに反映させる（50件程度／年を予定）ほか、AI・ビッグデータ等の活用により、職業情報の構成要素の追加・見直しを検討する。	高	6		
			・ 欲しい情報、信頼できる情報が引き出せる（検索機能の精度が高い）。	支援者	・ 労働市場全体について時系列での動向を知りたい。	新) 産業動向や雇用情勢（有効求人倍率等）等のデータを時系列で提供する。	3年以内	有効求人倍率等を提供する既存のデータ等と連携することを検討する。	高	7
					・ 一般の人にわかりやすい分類での検索ができる。	新) キャリアパスに関する情報を提供する。	3年以内	サイト内に「トピックス」等のコンテンツを設け、キャリアに関する定性的な情報提供を行うことを検討する。	中	8
					・ 興味や能力等からの検索ができる（多様な検索方法がある）。	改) 検索の分類に仕事の領域に関するテーマや仕事の特徴等を追加する。	3年以内	「仕事の領域に関するテーマ」や「仕事の特徴」等による検索機能の装備を検討する。	低	9
			・ 自分が知りたい職種の情報にスムーズにたどり着ける（調べやすさ）。	企業	・ 自社求人票の記載情報の過不足をチェックしたい。	新) 求人票の作成を支援できる機能を搭載する。	3年以内	企業が自社の仕事に関連した職務要件（仕事内容、必要なスキル、知識等）の作成を支援する機能の搭載を検討する。	中	10
			・ 働き手のスキルや適性を客観的に把握（明示）できる。	企業	・ 採用に当たり、求める人物像に合致しているか、適性を図る判断材料が欲しい。	新) 求職者の職歴や思考・行動特性、職歴等から適性の適合度を判定する。	3年以内	職歴等から適性を分析する機能に加え、思考・行動特性等から適性を分析するための機能の搭載を検討する。	中	11
					・ 採用に当たり、専門性や資格以外に、どのような要素を加味・考慮して判断すべきかを知りたい。	新) 企業が求める人材像を検討できるようにする。	3年以内	採用に当たり、AI・ビッグデータを活用し、専門性や資格以外に考慮すべき要素についての洗い出しを行うことを検討する。	中	12

観点		基本的な考え方	サイトに対するニーズ	今後の課題	取組時期	課題解決のための方策	優先順位	No.			
サイト運営方針書の目次相当。		サイト運営のよりどころとなる大まかの考え方。サイト全体を貫く骨格となる発想や観点。	現在構築中のサイトに対し、あるべき姿(理想的な状態)となるために必要なもの。サイト利用者の属性別に整理。	ニーズを満たすために解決すべき問題。「構築中の機能の改善(改)」と「追加で新規構築する機能(新)」とに分類。		課題解決に向けた具体的な手段や方法について、取り組み時期と優先順位を整理。					
他サイトとの情報連携	採用以外の人事管理の支援	・ 企業横断的なスキルや能力等の共通基準が提供できる。	企業	・ 採用以外の人材育成、配置等の人事管理にも活用したい。	新	職務内容や必要スキルを分析・比較したり、自社人材の研修・教育を行う際の検討をサポートする。	3年以内	企業が自社の仕事に関連した職務要件(仕事内容、必要スキル、知識等)の作成を支援する機能や現状の人材と将来あるべき人材を客観的に比較できる機能の搭載を検討する。	中	15	
		・ 産業界構造の変化等も踏まえ、対応する職業情報を適宜更新していく。	共通	・ 本サイトからの情報提供と引き換えに、民間サイトからも匿名化するなどした求人情報等を提供して頂き、職業情報データベースに反映させる。	新	他サイトから匿名化された情報を円滑に取得するための仕組みづくりを行う。	5年以内	まずは提供を求める情報の種類及びその用途を整理を行い、他サイトから匿名化された情報を円滑に取得できる可能性を検討する。	中	16	
	他サイトとのID連携	・ 転職後の活躍要因をマッチングデータ等に基づいて科学的に分析する。	支援者	・ 企業内には少ない、求職者の職業志向性等に関するデータを得たい。	新	分析に資するデータとして、官民が有する求人企業や求職者の情報の活用可能性を検討する。	5年以内	情報の取得可能性や分析方法などを検討する。	中	17	
		・ 利便性向上のため、情報提供や機能をカスタマイズしたり、ワンストップで複合的な情報提供を行う。	共通	・ 単一のIDにより個人特有の情報等の管理をしたい。	新	シングルサインオンやID連携により、利用者属性(設定情報)やサイト利用結果等を共用する仕組みづくりを行う。	5年以内	互恵的な観点での情報連携の可能性や個人情報保護など事業・技術の両面から検討する。	低	18	
		・ 相互に関連する目的や役割を持つサイト群を横断的に活用する。	共通	・ 職業に関する情報を一元的にワンストップで収集したい。	改	以下の3サイトを中心に連携の仕組みづくりを行う。 ①職場情報総合サイト、②ハローワークインターネットサービス、③ジョブ・カード制度総合サイト	3年以内	タスクスキル情報を速やかに参照できるようなリンクの設定、Web-API経由でのデータ提供、職業分類番号等をキーとした検索結果の共有等を検討する。	中	19	
		・ フリーワード検索をより使いやすく、精度の高いものにする。	共通	・ 多様な検索方法を提供したり、類似性や関連性の高い情報を検索結果の上位に提示したい。	新	職業と職種との互換性を分析する仕組み作りや諸外国における職業情報との互換性確保等、長期的な視点でデータベースの整備に取り組んでいく。	5年以内	検索結果のスコアリングやAI・ビッグデータ等の活用により、類似性や関連性の高い情報を検索結果の上位提示を検討する。	高	20	
	AI・ビッグデータ等の活用	検索精度の向上	・ フリーワード検索をより使いやすく、精度の高いものにする。	共通	・ 多様な検索方法を提供したり、類似性や関連性の高い情報を検索結果の上位に提示したい。	新	職業と職種との互換性を分析する仕組み作りや諸外国における職業情報との互換性確保等、長期的な視点でデータベースの整備に取り組んでいく。	5年以内	検索結果のスコアリングやAI・ビッグデータ等の活用により、類似性や関連性の高い情報を検索結果の上位提示を検討する。	高	20
		職業情報の更新	・ 職業を取り巻く状況等のデータを蓄積し、職業情報の継続的な更新を行う。	共通	・ 今後需要が見込まれる職業で求められる知識・スキルを獲得するための人材育成プログラムの開発などへ活用したい。	新	必要なデータの蓄積とAI等を活用した分析手法の開発を行う。	5年以内	必要なデータ(例:国内外の論文・特許や求人票、メディアで取り上げられた情報等)を収集・蓄積し、職業情報の更新の在り方を検討する。	中	21
	中長期的なサイト活用方策の展開	分析機能の精度向上	・ キャリア分析機能において、より詳細かつ具体的な結果を提示する。	共通	・ 職歴等の属性と実際に就いた職業とのデータを活用し、キャリア分析機能等で適職を提示できるようにしたい。	新	精度向上に必要な職業特性に関する情報を収集・蓄積し、サイトに反映する。	5年以内	情報の取得可能性や分析方法などについて具体的に検討する。	中	22
		継続的な改善活動の実施	・ 利用者ニーズや社会・産業界構造の変化に対応し、本サイトの持続的な発展につなげる。	共通	・ サイト運営の目標を可視化し、結果の分析や対応策の検討を効率的に行いたい。	新	目標となるKPIを設定し、PDCAサイクルによる継続的な改善を実施することで、サイト自体を含む情報提供のあり方そのものを継続的に改善していく。	3年以内	サイト運営の目標やKPI、評価手法等を検討・設定し、継続的に見直しながら改善活動を行う。	高	23
	職業訓練カリキュラムの提案	・ 職業訓練情報との連携により職業訓練カリキュラムを提案する。	共通	・ ある職業に就くためにどのような職業訓練カリキュラムが必要なのか、適切に提示したい。	新	各訓練機関のパフォーマンス情報(訓練情報と就職先)を集約するとともに、訓練情報と本サイトのスキル・知識等の情報との互換性を確保していく。	5年以内	情報の取得可能性や連携方法などについて検討する。	中	24	

出典1 「仕事の世界の見える化に向けて—職業情報提供サイト(日本版O-NET)の基本構想に関する研究—」(労働政策研究・研修機構、平成30年3月)

出典2 「職業情報提供サイト(日本版O-NET)(仮称)構築に向けた調査・分析等に係るニーズ調査報告書」(野村総合研究所、平成31年3月)

サイト構築に当たっての論点について

- 1 職業情報（約500職業）について
- 2 サイトの設計開発について
 - (1) 利用者像の設定
 - (2) ユーザビリティ調査の実施方法
 - (3) サイトの画面イメージ
 - (4) 職業情報動画のイメージ
 - (5) プロモーション・パブリシティ
- 3 サイト運営方針書（構成案）について
- 4 その他